

謹賀新年



令和元年十月二十二日 即位礼正殿の儀
(写真提供/神社新報社)



発行所 〒985-8510 塩竈市一森山一番一
志波彦神社
鹽竈神社 社務所
電話 〇二二三六七一六一(代)
FAX 〇二二三六五〇五五三〇
http://www.shiogamajinja.jp/



令和元年十月二十二日、即位礼正殿の儀は、高御座の御帳が開かれて新帝の御姿が初めて拝される「宸儀初見」という平安時代前期の儀式に復したものとされた。

天皇陛下は「おことば」を述べられて、即位されたことを内外に宣明遊ばされた。その後段、上皇陛下について、「いかなる時も国民と苦楽を共にされながら、その御心を御自身の御姿でお示しになってきたことに、改めて深く思いを致し」と述べられ、先帝の御心を継承される御決意を示された。これを以て平成以降とそれ以前の皇室のあり方とは違うのだとの意見があるが、浅薄すぎる。一昨年の御誕生日に際しての御会見においても、「過去の天皇のなさりようを心にとどめ」と、歴代天皇の御心を受継ぐというお気持ちをも明確にされている。百二十六代にわたり受け継がれてきた大御心を、二千数百年間仰ぎ続けて来た日本人。その一貫した国柄こそは、先祖が紡いできた国史への限らない信頼を我々に与え、子孫への希望であり続けるに違いない。明治天皇の「汝等、朕と其の憂いをもとにせよ」とのお言葉に象徴される歴代天皇の御心のままに、国民と苦楽をともしるとの御覚悟を以て新帝は即位された。国民も又、御心に応え、新帝の御代がとこしえに平安であらんことを祈りたい。



大御代を寿ぎて

志波彦神社 宮司 鍵

三 夫

令和二年(皇紀二六八〇年)新春を寿ぎ、御皇室の弥栄と御国の安泰を御祈念申し上げます。

天皇陛下におかせられましては、昨年五月一日に第二六代の御位に御即位され、御大札の御儀が恙無く執り行われましたことをお慶び申し上げます。

当社におきましては、踐祚改元奉告祭をはじめ、即位礼

当日祭、臨時大祓式、大嘗祭奉祝祭を斎行し崇敬者と共に御即位をお祝い申し上げ、奉祝の記帳も多くの参拝者より寄せられました。また「天皇陛下御即位をお祝いする国民祭典」や「祝賀御列の儀」においては、国民挙って奉祝の誠をささげ盛大に挙行されたことは慶賀の至りと存じます。

昨年十一月二十三日に行われた「神宮に親謁の儀」には、

宮城県神社庁長として奉迎させて頂き、天皇皇后両陛下のお姿を拝すること恐懼の至りでありました。

さて当社では、天皇陛下御即位奉祝事業を実施してまいりましたところ、昨年末に一部を残し、完了する運びとなりました。本事業に御協力頂いた関係各位には改めて御礼申し上げます。

また一方、昨年は自然の猛威に襲われた一年であり、特に十月の台風十五号・十九号とその後の大雨によって被災された皆様方には、改めてお見舞いを申し上げます。今なお不便な生活を余儀なくされている多くの方々が、一日も早く元の生活に戻れますように復興が進みますことをお祈りいたします。

公月にして気淑く風和ぎ一人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ「令和」の大御代の御栄と氏子崇敬者各位の安寧を切に念願し、新春の辞と致します。



年頭の御挨拶

塩竈市長 佐藤 光樹

新年あけましておめでとございます。

皆様には健やかに新年をお迎えになられたことと、心よりお慶び申し上げます。

また、旧年中も市政発展に格別なるご支援ご協力を賜りましたこと、厚く御礼を申し上げます。

私ごとで恐縮ではございますが、昨年九月より塩竈市長

に就任いたしました。本年も皆様から寄せられました信頼とご期待にお応えするため、皆様と共に「笑顔あふれるふれあい街(タウン)しおがま」を目指して勇往邁進してまいります。

塩竈市は、市制施行から間もなく八十年を迎えます。かつての製塩の地、陸奥国一之宮鹽竈神社の門前町として栄

えた我がふるさと塩竈は、多くの先人の方々が歴史と文化の伝統を尊びながら時代の変化を乗り越えてきました。

毎年七月の海の日には、日本三大船祭りのひとつにも挙げられます「塩竈みなと祭」が盛大に開催されております。鹽竈神社と志波彦神社の御神輿が奉安された御座船が、多くの供奉船を伴って日本三景の松島湾内を渡御なされます。

その勇壮な御姿を一目見ようと毎年大勢の観光客が訪れ、塩竈市はその年一番の賑わいを見せます。

本市といたしましても、鹽竈神社と共に紡いできた伝統と文化を継承し、その魅力を最大限活かしたまちづくりにも取り組んでまいりますので、更なるご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、皆様の御健勝と御多幸を祈念いたしまして年頭の御挨拶とさせていただきます。

謹みて新年のご祝詞を申し上げます

令和二年 庚子 元旦

志波彦神社 鹽竈神社

代表役員

宮司

責任役員

- 阿部 勸九郎
- 佐浦 弘一
- 鈴木 雄一
- 渡部 邦彦
- 阿部 次郎
- 野口 仁郎

総代

- 鈴木 庸彰
- 菅野 一郎
- 佐藤 仁
- 和田 重信
- 志賀 暢大
- 桑原 茂
- 鈴木 健史
- 水野 直
- 志賀 直哉
- 津田 武彦
- 菅原 宏和
- 勝又 儀
- 下山 雄
- 土井 儀
- 小泉 幸
- 阿部 善
- 横田 善



初春によせて

株式会社 阿部亀商店 代表取締役
 志波彦神社 責任役員
 鹽竈神社 会長
 御神田奉齋会 会長
阿部 仁

昨年は御代変わりの歳で国中が嘉事慶事に湧いた歳でありました。そうした中、十一月二十三日、天皇皇后両陛下が伊勢神宮内宮にて親謁の儀に臨まれた際に、当神社の鎌宮司が宮城県神社界を代表しご奉迎申し上げましたとのことで、この上ない名譽なことで氏子の皆様共々心よりお慶び申し上げます。

同日塩竈市では産業振興祭と初穂曳が賑々しく齎行され、大勢の皆様にご奉仕頂きました。剣道連盟、ボーイスカウト、スポーツ少年団、朱雀連、氏子崇敬会、氏子青年会のほか一般参加の皆様、特に金融関係の皆様には綱元を担当して頂きました。誠にありがとうございました。本年もまた、一人でも多くの皆様のご参加

とご奉仕の程よろしくお願いいたします。ところで昨年は目を覆わんばかりの災難にも見舞われました。台風十九号に伴う堤防越水による被害が県内でも起ころしました。さらに十月末日早朝、何気なくテレビをつけておりますと、突然、紅蓮の炎に包まれた国宝首里城の炎上画像が映し出されました。

翻りまして、八万坪に及ぶお山の防火管理につきましては、本年より高性能の監視カメラが要所に増設されるとはいえ、私ども氏子にとりましても他人ごとではないとつくづく思われされました。さて、本年はいよいよ復興震災オリンピックイヤーであります。世界中を興奮のつぼにする素晴らしい競技が数多く繰り広げられますことを、そして神社に世界中から大勢の皆様がご参拝されますよう期待で胸が膨らんでおります。結びに、氏子の皆様方の本年の弥栄と、ご家族ご生業の繁栄を心より祈念申し上げます。初春のご挨拶とさせていただきます。



年頭のご挨拶

塩釜警察署署長 西 舘 禎

新年明けましておめでとうございます。令和となり始めて迎える新年、皆様には輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、旧年中は警察行政の各般にわたり、深いご理解と多大なご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

初出勤の朝、志波彦さま、鹽竈さまへ参拝を済ませ、神苑の彼方に見える松島湾を一望したとき、ご譲位による御代替りという歴史の大きな節目の年に、この地で勤務できますことに崇高な誇りと使命感を新たに致しました。着任後は、古式に則り厳肅かつ雅やかに執り行われる神事に参列させていただく度に、身の引き締まる思いで日々の感謝を捧げ、改めて地域の安

寧をご祈願し、治安維持への重責を果たすことをお誓い申し上げます。また、みなと祭り等の祭典のご協力を賜り、無事齎行できましたことに衷心より感謝申し上げますとともに、大勢の観衆に見守られ、荘嚴な雰囲気の中、表坂を還御される力強い姿に、勇氣と希望、そし

て大きな感動を与えていただきました。本年は、東京オリンピック・パラリンピックの開催、秋には天皇皇后両陛下の行幸啓など、大規模警備が予定されておりますが、引き続き署員一丸となつて管内の治安維持に全力で取り組んで参りますので、変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

氏子崇敬会 会長 副会長	桑原茂 野暢 佐藤良 安文 菅宏 引地利男	祭典委員会 委員長 副委員長	和藤善 齋藤彌 内形繁夫 香取嗣雄	敬神婦人講 講長 副講長	宇仁一 佐々良 今野美 千賀子 岡田久子	氏子青年会 会長 副会長	戸羽宏志 沼倉安明 永沢透 後藤昭夫 松林史人 小林史夫	節分祭年男女世話人会 会長 副会長	佐藤武志 佐藤一臣	御神田奉齋会 会長	阿部 仁	鹽竈神社博物館審議委員会 審議委員	濱田直嗣 太田與八郎
--------------------	--------------------------------------	----------------------	----------------------------	--------------------	----------------------------------	--------------------	---	-------------------------	--------------	--------------	------	----------------------	---------------

奉祝 令和の御大礼

天皇陛下が即位を内外に宣明される「即位礼正殿の儀」が令和元年十月二十二日に行われました。

午後一時より皇居宮殿松の間において、国内外の代表ら二千人の参列のなか、高御座に登られた天皇陛下はお言葉を述べられました。

お言葉

『さきに、日本国憲法及び皇室典範特例法の定めるところにより皇位を継承いたしました。ここに「即位礼正殿の儀」を行い、即位を内外に宣明いたします。』

上皇陛下が三十年以上にわたる御在位の間、常に国民の幸せと世界の平和を願われ、いかなる時も国民と苦楽を共にされながら、その御心を御自身のお姿でお示しになってきたことに、改めて深く思いを致し、ここに、国民の幸せと世界の平和を常に願い、国民に寄り添いながら、憲法ののっとり、日本国及び日本国民統合の象徴としてのつとめを果たすことを誓います。

国民の叡智とたゆみない努力によって、我が国が一層の発展を遂げ、国際社会の友好と平和、人類の福祉と繁栄に寄与することを切に希望します。』

御大礼の御儀

十月二十二日

即位礼当日賢所大前の儀



十月二十二日
饗宴の儀



十一月八日
神宮に勅使發遣の儀



十一月十日
祝賀御列の儀



十一月十四日〜十五日
大嘗宮の儀 悠紀殿



大嘗宮の儀 主基殿



十一月十八日
大饗の儀



十一月二十三日
神宮に親謁の儀



即位礼当日祭齋行

当日、当社では即位礼当日祭を齋行しました。

午前十一時より鹽竈神社左右宮拜殿で執り行われた祭典には、佐藤光樹塩竈市長を始め責任役員・総代他崇敬者八十二名が参列しました。

祭典に先立ち、国家を斉唱し、宮司祝詞奏上の後、神楽「悠久の舞」が奉奏されました。

祭典後、拜殿内に塩竈市長の先導による聖寿万歳が響きわたりました。

また、授与所前に記帳所を設置、参拝者が祝意を寄せていました。十一月十四日までの記帳者は二九五一名となりました。



臨時大祓式

十一月十二日、午後三時より祓所において臨時大祓式を執り行いました。



大嘗祭奉祝祭

大嘗宮の儀が行われた十一月十四日、当社では大嘗祭奉祝祭を齋行しました。

責任役員・総代をはじめ崇敬者参列のもと、御両社に神社本庁よりの幣帛をお供えし、神楽「浦安の舞」を奉奏。御一代に一度の大嘗祭を寿ぎました。

天皇陛下御即位奉祝事業

志波彦神社に四神旗奉納

総代菅原宏和氏(榊白寿殿代表取締役)により、志波彦神社に四神旗が奉納されました。昨年九月二十九日に齋行された志波彦神社遷座記念祭において、参列者に披露され、宮司より感謝状・記念品が贈呈されました。



社務所屋根銅板葺替工事 文庫屋根 檜皮葺替工事 完工

昨年八月より実施してまいりました社務所屋根の銅板葺替工事と文庫屋根の檜皮葺替工事が完工し、新たな装いで新年を迎えます。引き続き、齋館・齋館門・随

第七十二回 奉獻乾海苔 品評会

審査会 一月七日(火) 午前九時 齋館 感謝祭 一月十一日(土) 午前十一時 左右宮

本年も当社を会場に「鹽竈神社奉獻乾海苔品評会」が開催されます。

審査会は一月七日(火)に実施し、十帖一束約三三〇g以上の乾海苔を一点として色・艶・手触りなどを厳選し受賞者を決定します。

十一日(土)午前十一時から関係者参列のもと奉獻感謝祭が齋行されます。

優賞者および準優賞者は、両陛下・皇族方への乾海苔献上という榮譽に浴することに なっています。

当日は、出品された乾海苔を祭務所に展示いたします。御参拝の際には、宮城県産の乾海苔を豊かな香りとともに御覧下さい。



境内並びに博物館に 防犯設備増設

境内や博物館の防犯カメラ・センサーの増設工事が行われ、運用を始めています。



節分祭

二月二日(日)・三日(月)

恒例の「しまがまさまの豆撒き」節分祭。

本年は二月二日(日)・三日(月)のそれぞれ午後三時から鹽竈神社左右宮において追儺式を斎行し、志波彦神社前の特設舞台より袴姿の年男・年女らが「福は内、鬼は外」の掛け声とともに福豆を撒き、厄災消除・除災招福を祈願いたします。また御協賛いただいた福景品の当たり籤も一緒に撒かれます。お誘いあわせのうえ、足をお運び下さい。

豆撒きの参加申込みは、以下の世話人へお申込み下さい。

節分祭年男女世話人会
(市外局番〇二二)

- ・会長 佐藤 武志
- ・副会長 佐藤 一臣
- ・南町 榎菅原園茶舗 (三六二) 〇〇二八
- ・南町 漢方の塩竈芍薬堂 (三六二) 七八八〇

- ・郷家 照夫
- ・南町 郷家第三歯科医院 (三六二) 四五七一
- ・松本 喜八郎
- ・旭町 榎松本左官工業 (三六二) 三二七五
- ・佐藤 仁一郎
- ・南町 榎ごんきや (三六七) 七七七七
- ・菅原 周二
- ・桜ヶ丘 榎白寿殿 (三六六) 四一四一
- ・櫻井 ふみ子
- ・北浜 〇九〇(五八四三) 二七三二
- ・鈴木 志彦
- ・権現堂 榎丸伸佐藤商店 〇九〇(一〇六九) 二〇七〇
- ・大友 義雄
- ・桜ヶ丘 榎白寿殿 (三六六) 四一四一
- ・大場 喜藏
- ・南町 大場酒店 (三六七) 〇九〇六
- ・高瀬 聰
- ・尾島町 たかせ美容室 (三六六) 六四二〇
- ・古内 隆弘
- ・港町 プリンス食品(株) (三六五) 六一八一
- ・古川 浩司
- ・貞山通 榎カネヒロ (三六六) 一一六一

産業振興祭

十一月二十三日、一年の収穫を大神様に感謝する産業振興祭が、斎行されました。

例年は新嘗祭として斎行しますが、天皇陛下の御即位により大嘗祭奉祝祭を十一月十四日に斎行した為、産業振興祭として斎行しました。

当日は、祭典と並行して御神田米をはじめ鮮魚や蒲鉾などの地場産品の数々を満載した奉曳車を曳いて御神前にお供えする「初穂曳」も実施されました。

表坂下を出発した奉曳車は、大勢の氏子の奉仕により塩竈市内を奉曳し志波彦神社大鳥居前まで曳き上げられました。奉献品は一人ひとりの手によって、御両社御神前に丁寧にお供えされました。

産業振興祭に際し、左記の方々から各種産物を御奉納頂きました。ここに御芳名と献品を御紹介いたします。(品目別・順不同・敬称略) 産業振興祭奉献者御芳名

- ・白米 仙台農業協同組合多賀城支店・JAいしのまき(株)白寿殿・文屋清一・鈴木邦彦
- ・稲穂 大場一美

酒類

阿部勸酒造(株)佐浦・一ノ蔵酒類販売(株)・和田電気工事(株)・(株)丸要漁業部・(株)やまや・小柳建設(株)・丸福(株)

鮮魚

(株)塩釜魚市場・塩釜市魚市場卸売協議会・塩釜地区機船漁業組合・塩釜市魚市場問屋組合・塩釜市魚市場買受人協同組合・塩釜市水産振興協議会・(株)ワタベ魚類・ヤットハチ鈴木水産(株)・(株)菊池商店・山田水産 山田祐子・(株)渡會・(株)魚力商店・第十八号仁庄丸・吉栄丸・六十八号仁庄丸・第二十八勝丸・大黒丸・第一芳竜丸・大黒浩栄丸・第八大黒丸・山崎達栄丸

蒲鉾

勝山水産(株)・水野水産(株)・マルブン食品(株)・(株)直江商店・プリンス食品(株)・(株)阿部善商店・(株)高浜・(株)小島蒲鉾店・(株)大膳・(株)松島蒲鉾水舗・(有)増友商店

野菜・果物

(株)塩釜地方卸売市場・八百大分店・(有)北浜フード・山田 宏・千葉洋一・鈴木正勝 節子・小野とみ彥

菓子

丹六園・(有)土井精菓・梅果堂・(有)栄太楼・梅花堂・(有)サントノーレ洋菓子店・(有)ヤマギシ洋菓子店・海鮮せんべい塩竈(株)

その他食品

ぜんぎよれん食品(株)塩釜食品工場・塩釜寿司業組合・十字屋(株)・蜂屋食品(株)・理研食品(株)・(株)アベチヨウ・(株)塩釜水産食品・(株)丸大食品・岸柳水産(株)・(株)明豊・(有)八百照・(株)間宮商店・(株)ヤママサ・(株)ヤマカ勝又商店・シヨップ サトー・(株)松田製粉・(株)東日本ソルト 仙台営業所

肥料

片倉コープアグリ(株)東北支店



講社だより

去る十月十二日より十四日にかけての三日間、講社大祭が鹽竈神社左右宮において斎行されました。

ここに、永年の継続講員に対し表彰状と記念品が贈呈されましたので、御芳名を御紹介いたします。

また、新任の世話人へ委嘱状が交付されましたので、併せて御紹介いたします。(敬称略)

令和年度継続講員表彰者

◇九十年表彰
菅野 一二・松本 正昭

◇八十年表彰

佐藤 嘉七・佐藤 壮一
佐藤 正晃・齋藤 榮樹
高野 正浩・齋藤 政治
高橋 吉春・高橋 英一

◇七十年表彰

梶田 利一・京野 正男
後藤 みえ子・阿部 一男
日野 正一・大坂 精一
阿部 進・鈴木 進二郎
鈴木 源・鹿野 義博
相沢 仁子・水間 勝之助
水間 作雄

◇三十年表彰

大河原支部(二名)
吉木 利夫
城南会(一名)
多田 恵保

◇六十年表彰

佐藤 勝雄・佐藤 雅博
八木 源悦・菊池 昭博
佐々木 孫一・小野 えな子
佐藤 壽久

大河原支部(四名)
小笠原 裕・村上 利信
八島 良次・水戸辺喜三郎

◇五十年表彰

相田 喜代志・加藤 規子
奥田 建樹・宮川 尚一
石森 實・佐藤 宗雄
八木 登喜雄・土井 純一

◇四十年表彰

一條 善人・杉 四郎
高橋 キヨ子・鶴家 福榮
鐵 千恵子・佐藤 辰一
森 善洋・井上 啓
松川 義男・石田 隣太郎
鈴木 潤一・石川 輝夫
長南 昭子・内海 豊太郎
太田 孝・鹿又 誠
大河原支部(三名)
森 和弘・池田 節子
山田 孝之

◇三十年表彰

佐々木 タキ
塩釜報恩講(二名)
佐藤 武志
岩出山講(一名)
栗生 時雄

◇二十年表彰

小野 道教・佐々木 恒芳
進藤 常男・津田 とし子
皆川 喜一郎・森田 節子
佐藤 俊昭・山内 実

◇十年表彰

伊藤 弘子・鎌田 恵理子
櫻井 昭弘・渋谷 洋子
進藤 瑠香・進藤 陽菜
千葉 孝浩・氏家 時子
昆 光治・齋藤 孝吉
天野 たか子

大河原支部(四名)
小野 忠一・日下 ミヤ子
菅野 文三・内池 あやこ
大槌支部(四名)
小松 金蔵・三浦 由蔵
岡本 憲子・石野 正己
岩出山講(一名)
高橋 昇

◇二十年表彰

阿部 節子・阿部 信彦
太田 義信・近藤 優
斉藤 久雄・酒井 マリ子
佐々木 眞一・佐々木 義弘
佐竹 勝男・設楽 富江
庄司 弥寿子・鈴木 俊一
鈴木 浩・谷口 和彦
永井 文子・七海 正明
七海 美恵子・花坂 久子
平井 幸雄・森 喜一
横山 征夫・渡部 和枝
和田 浩子・石田 敏子
阿部 美代子・加藤 賢
小林 達・曾我 みえ子
水間 正浩・水間 元治
鈴木徽章工芸(株)

◇三十年表彰

山本 明美・高橋 清治
山本 松浦塗装 松浦 昭
大槌支部(二名)
田老 弘美・岡本 カツ子
城南会(五名)
内山 哲也・内山 寛子
見目 寛・古山 久司
清水 一臣
岩出山講(二名)
小野松 一夫・白井 修子

敬神婦人講だより

仙台キリスト教育児院

七五三詣

当社敬神婦人講では、社会福祉事業の一環として昭和三十五年(一九六〇年)から毎年、仙台キリスト教育児院「丘の上子どもホーム」の院児たちを七五三詣に招待しております。

昨年十一月九日、七五三に該当する七名の院児たちを招き、お祝いしました。

帰幽

小島 勇馬殿

元総代・節分祭年男
女世話人会世話人小島勇馬氏は令和元年十月五日逝去されました。享年九十歳。

昭和四十八年より節分祭の世話人を務められ、節分祭追儺式の発展に御尽力されました。昭和六十三年には総代に就任され、平成三年の第十七回鹽竈神社式年遷宮を始め、神社の護持運営に御協力されました。謹んで御冥福をお祈りいたします。



参拝記録

昨年九月から十一月にかけて当社を正式参拝された方々を御紹介いたします。(敬称略)

九月

- 二日 國學院大學指定実習Ⅱ受講者 五名
- 五日 國學院大學教授 齊藤智朗氏
- 八日 富山県・諏訪神社 三十五名
- 十二日 神奈川県・横浜一之宮神社奉賛会 二十八名
- 二十二日 洗心講世話人会 十一名
- 二十七日 東京都・睦会 代々木五丁目親交会 二十名
- 二十八日 書家・柏木白光氏

十月

- 三日 福島県・開成山大神宮 十二名
- 二十一日 大徳寺照輝氏
- 〃 岩手県・北上商工会議所 十六名
- 二十四日 國學院大學七十四期史学科二組クラス会 十六名
- 三十一日 仙台西ロータリークラブ 二十一名
- 北海道・白老ロータリークラブ

十一月

- 五日 一森会山形県支部 六名
- 七日 東北地区教育関係神職協議会 二十五名
- 十三日 北海道・後志青年神職会
- 創立七十周年実行委員会 八名
- 十八日 全国トロントガバナー会 二十八名
- 二十七日 山形県・山形地区保護司会 二十九名
- 二十九日 しがま蔵出し新酒まつり 十五名

博物館だより

令和二年庚子歳新春特別展
「仙台藩の名工
国包(くにかね)」
開催

仙台藩では多くの刀工が穂を振るいましたが、その代表となるのが国包の系統です。特に、江戸時代前期に活躍した初代国包は名工の誉れ高く、柁目の鍛えに直刃(すぐは)を基調とした刃文をあら

わす作風によって広く知られています。

その作風は、歴代の国包や門流によって継承されたほか、他の刀工らにも取り入れられて仙台刀工の作風が育まれました。

本展では、初代国包を中心として国包各代の作品約五十点を展示し、その作風とみどころ、そして彼らの足跡について御紹介します。

御参拝の折には、ぜひ御覧いただきますよう御案内申し上げます。

◇会期

令和二年一月一日(水)

～一月二十六日(日)

◇開館時間

午前八時半

～午後五時まで

最終入館は午後四時四十分

(会期中は無休)

◇観覧料金

一般(含大学生) 五〇〇円

高校生以下無料

・団体二十名様以上四〇〇円

高校生以下無料



刀銘 山城大掾国包(宇和島伊達家伝来)

ご結婚
おめでとう
ごさげいませ

昨年九月から十一月まで、当社において華燭の典を挙げられた方々を御紹介します。(敬称略)

九月

多賀城市	伊藤 和磨
愛知県	松浦 美祥
仙台市	谷田 航紀
東京都	中村 真理子
神奈川県	山本 琢也
岩手県	臺 清佳
多賀城市	瀬戸 雅樹
山形県	檜岡 さや子
仙台市	石塚 利行
宮城県	根本 春菜
宮城県	佐々木 祐
大崎市	本田 恵子
仙台市	都澤 和弘
神奈川県	大滝 恵理
塩竈市	松木 司
静岡県	青木 美佑紀
多賀城市	佐々木 孝輔
宮城県	品田 美久
名取市	樋口 拓馬
岩手県	黄川田 真衣

十月

宮城県	高橋 寿
仙台市	葛西 里紗
名取市	渡辺 俊信
東松島市	守 ちひろ
栗原市	佐藤 慎悟
千葉県	鮎川 恭子
名取市	金山 秀平
塩竈市	櫻井 結理枝
角田市	小野 裕洋
多賀城市	櫻井 玲奈
遠田郡	小林 成伍
仙台市	遠藤 梓
仙台市	阿部 尚人
仙台市	林 実奈
秋田県	小林 謙亮
福島県	阿部 桃佳
多賀城市	鈴木 勇希
静岡県	鈴木 麻奈未
遠田郡	阿部 哲弥
栃木県	針谷 秋名
塩竈市	酒井 伸太郎
長野県	仲俣 彩
石川県	加藤 洋介
仙台市	佐々木 晶子

十一月

仙台市	佐藤 駿
仙台市	鈴木 紗都
兵庫県	辻田 裕輝
仙台市	杉田 香織
多賀城市	加藤 尚希
仙台市	庄司 清恵
多賀城市	西條 孝
大崎市	佐々木 裕子
石巻市	大澤 弘樹
岩手県	佐藤 未央
宮城県	茨木 允康
石巻市	海上 弘絵
気仙沼市	村上 雄一
巨里郡	南條 美由紀
塩竈市	赤間 善太
塩竈市	宮城 紗織
アメリカ合衆国	Vu 勇気
アメリカ合衆国	郭 葛韻
宮城県	大久 翔太
多賀城市	上野 怜衣
岩手県	福士 権太
石巻市	阿部 友紀
埼玉県	岡田 祐太郎
東松島市	佐々木 美美

栃木県	手塚 太一朗
仙台市	會澤 まみ
仙台市	安倍 知宏
多賀城市	平塚 由紀
白石市	根元 拓也
白石市	高橋 璃緒奈
仙台市	大橋 俊輔
岩手県	島山 由美子
仙台市	佐藤 大樹
福島県	古舘 千佳
岩手県	小原 光明
気仙沼市	菊池 萌夏
仙台市	栗林 孝実
遠田郡	山根 泉
柴田郡	鈴木 洋行
名取市	境田 幸恵
仙台市	河西 敏則
神奈川県	佐々木 淑
加美郡	早坂 陽介
塩竈市	三束 恭子
登米市	佐藤 友彦
栗原市	菅原 歩実
宮城県	伊藤 聖也
多賀城市	梶井 美香
岩手県	山崎 健
大阪府	寺西 幸

銅板奉納者芳名

御奉納いただいた銅板は、御社殿の御屋根葺き替えの際に用いられます。

昨年九月から十一月にかけて、多くの方より銅板の奉納をいただきました。(敬称略)

九月

三重県 福山 光幸

十月

青森県 木村 文仁

十一月

静岡県 戸田 秀司

ほか七十二名



